

6 高齢者にやさしいまちづくり

誰一人取り残さない日本一の“高齢者にやさしいまち”を目指して

総合高齢社会対策プロジェクト



「すべての人にとってやさしいまち」を目指す総合高齢社会対策と、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGsは、まさに同じ方向性を目指すものです。

豊島区は「総合高齢社会対策プロジェクト」の取組を通して、一人暮らしでも健康で安心して暮らせるまちを実現します。



一人暮らし高齢者の割合

※高齢者人口に占める一人暮らしの割合

65歳以上		75歳以上	
① 豊島区	35.6%	① 豊島区	38.1%
② 新宿区	34.0%	② 港区	35.7%
③ 台東区	33.4%	③ 新宿区	35.6%
④ 中央区	32.8%	④ 中央区	35.3%
⑤ 港区	32.8%	⑤ 千代田区	34.5%
全国平均	19.0%	全国平均	20.9%

令和2年国勢調査

(全国、都道府県、21大都市、特別区、人口50万以上の市)

人口密度日本一の豊島区は、一人暮らし高齢者の割合も日本一高い自治体です。

一人暮らしの高齢者でも安全・安心に暮らせるよう、「社会的孤立ゼロ」「100歳健康」「一人暮らしでも安心」の3本柱で対策を推進していきます。

対策の3本柱

社会的孤立ゼロ

100歳健康

一人暮らしでも安心

社会的孤立ゼロ

誰一人取り残さないまちへ

- ひとり暮らし高齢者ほか、あらゆる世代の方が利用できる「だれでも食堂」を新たに高田介護予防センターで実施します。これにより、居場所づくりや世代間交流、外出の機会を促進します。
- 「豊島区ひきこもり情報サイト」を開設、区が開設したサイトで支援情報を提供するなどし、相談しやすい環境を整備し早期支援につなげます。



▲だれでも食堂（イメージ）





100歳健康

福祉×文化の融合を推進

- 家族をテーマとする朗読劇「家族草子」との連動企画として、朗読劇に関するワークショップ等を開催し、「福祉と文化の融合」によるフレイル対策・外出促進を図ります。
- フレイル予防を推進するとともに、認知症をテーマとする映画上映など、日常生活の中で文化に触れることが、心に潤いをもたらす仲間をつくるきっかけともなり、心身の健康にもつながります。



▲朗読劇「家族草子」池袋公演の様子



▲ふくし健康まつり+（イメージ）



▲フレイル予防でいきいき100歳

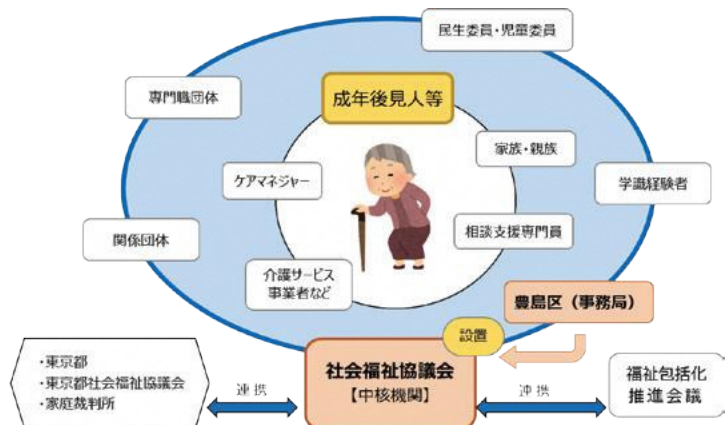
一人暮らしでも安心

いざという時の安心をサポート

- 必要な人が成年後見制度を利用できるよう、地域連携の仕組みを構築するとともに、協議会を適切に運営するために中核となる機関を社会福祉協議会内に設置します。
- 「最後まで自分らしく生活したい」区民の皆様の願いに寄り添うツールとして「終活あんしんノート」を作成します。



▲終活あんしんノート



▲成年後見制度の中核機関設置イメージ